

遊歩一景

県境
(野々浜学区)



県境を
またいで暮らす
端の街
お向いさんちは
岡山県

他の写真 ↓ ↓ ↓

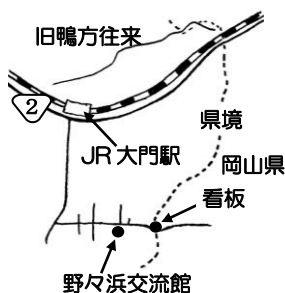


福山市大門町は、岡山県笠岡市と隣接しており、国道の他、県道や古い道にも境を示す石柱や看板があります。

過去には江戸時代や明治初期に行政区域の変遷がありましたが、大門町野々浜と笠岡市茂平は古くから交流が盛んな地域で、県境を超えた交流が現在も行われています。

例えば、「野々浜・茂平親善球技大会」が毎年開催されています。これは、野々浜、茂平、大津野と地域企業が参加し、昨年度で51回目を迎えました。また、茂平の一部エリアの児童は、野々浜小学校に通学。県境は、野々浜学区の生活道路に引かれており、福山市民と笠岡市民が同じ区域で生活しています。

現在、福山市上下水道局は、笠岡市、井原市との間で大規模災害時の断水に対応するために、「連絡管」整備の方針を明らかにしています。



東部いれこみ情報 学習情報紙 No.283 4月号

2025年(令和7年)4月1日

発行 東部地域振興課

住所 〒721-0915 福山市伊勢丘 6-6-1

電話 940-2574 FAX 947-5658

福山市東部地域振興課

カラーはホームページで・QR



TouTube・トーチューブ

桜の下で歌ってみた2025春

桜の季節がやってきました。今年も、「桜の下で歌ってみた」の撮影を企画しTouTubeに掲載します。

今回は、琴の演奏とポップスソングの2本立てでお送りします。

●琴：筑紫ひなづる会

前田歌邦さん 岡森歌月桜さん

●ポップス：SAKA⇄SAMA feat.(H)

公開日時は次のとおりです。

公開 4月12日(土)9:00~

●動画サイト YouTube

●チャンネル TouTube.f

●問合せ先 東部地域振興課

電話：084-940-2574

FAX：084-947-5658

メール： ↓ ↓ ↓

toubu-chiikishinkou@city.fukuyama.hiroshima.jp



桜坂ギャラリー

企画展

東部まちづくり博覧会2025

●期間 4月30日(水)まで

●場所 東部市民センター 2階ロビー

今年度も、東部まちづくり博覧会を開催します。東部管内にある15学区が、地域をあげて取り組んできた1年間の活動をパネルで紹介します。

ふくやま東部文化フェスタ2025の展示としてスタートし、4月30日(水)までご覧いただくことができます。

主催・問い合わせ先 東部地域振興課

電話 084-940-2574

FAX 084-947-5658

「高めあう 人権感覚 確かな未来」



日吉台学区 珈琲サロン「憩い」が活動

珈琲サロン「憩い」は、「日吉台くらぶ」（休園中の日吉台幼稚園）での定期的な開所による高齢者の孤立化・閉じこもりの防止等を目的に、2015年7月から居場所づくり事業の一環として始められました。サロン活動の充実をめざし、回を重ねるごとに参加者が増えて、おでかけ支援の利用者からも『珈琲サロン「憩い」が楽しみ』という声



＜ 珈琲サロン憩いでの様子 ＞



＜ ふくやま東部文化フェスタでの様子 ＞

が聞かれています。現在、毎月第一金曜日に開催されており、先日の「ふくやま東部文化フェスタ」へも参加されました。会の運営は高齢者支援事業ボランティアのみなさんで担っています。今後の展望としては、高齢化が押し寄せるまちに住み続けるためには、自分の地域に関心をもつ人に声をかけ、「できることはするよ！」という協力者・仲間を増やしていくことから始めていきたいです。「日吉台くらぶ」の他にも、各町内会集会所等のサロンを開設しているところです。

「ふくやま東部文化フェスタ」中学生ボランティアの活躍

3月2日に東部市民センターで開催された「ふくやま東部文化フェスタ2025」では、多くの方が来場され、会場は大いに賑わいました。

このフェスタを開催するにあたり、運営ボランティアとして、鳳中学校、大門中学校、東朋中学校、培遠中学校の4校から、33人の中学生の皆さんに参加していただきました。

ボランティアに参加した中学生からは、「新たな経験ができてよかった」「次回も参加したい」「おとなとたくさん



コミュニケーションが取れてよかった」などの意見がありました。また、地域の方からは「生徒の皆さんの動きがすばらしく、心を動かされた」「責任をもって任務を全うしていて素晴らしい」などの意見がありました。

このフェスタのテーマである「東部からローズマインド～笑顔の花を咲かせよう～」のとおり、会場には笑顔があふれ、幅広い年代層のボランティアや参加者が集い、出会い、未来への絆を創ることができたフェスタとなりました。

東部管内イベント・講座情報

東部地域振興課

「福島のひまわりの種さしあげます！」
～思いは被災地のみなさんとともに～

東日本大震災から、はや14年が過ぎ、多くの命が奪われ、ご家族などを亡くされた方々の悲しみは深く続いています。

東朋中学校では、11年前から生徒の皆さんが『福島ひまわり里親プロジェクト』に参加しています。これは、ひまわり栽培を通じて、自然災害に見舞われた被災地の思いに寄り添うものです。

昨年度は、5月15日の夕方に東朋中のボランティアグループ「TOHO LEADERS」のメンバー13人が、校内で育てた福島のひまわりの種を東部市民センターの花壇2箇所にまきました。

生徒の皆さんは、「先輩から受け継いだ大切な取組なので後輩に伝えていきたい」という想いで、昨年の夏もたくさんの花を栽培し、センターの花壇や校内で、多くの種を採取できました。

このような想いが込められた「福島のひまわり」を育ててみませんか？

東部地域振興課で、種をお預かりしています。

【期間】4月1日（火）～なくなり次第終了
8時30分～17時15分

【場所】東部市民センター2階
東部地域振興課

【費用】無料

【対象】どなたでも

【問い合わせ先】

東部地域振興課 084-940-2574



春日コミュニティ館

多文化教室「なないろ」

お互いの文化や言葉について学び合い、生活の中で困ったことなどを相談できる教室です。

【日時】4月3日 10日 17日 24日（木）

10時～11時30分

【会場】春日コミュニティ館

【講師】ボランティア

【対象者】国籍・年齢・性別関係なくどなたでも

【定員】なし 【参加費】なし【申し込み】必要

【その他】初めてのの方は、必ず事前にご連絡ください。

おもちゃ病院と～ぶ

ボランティアのおもちゃドクターに趣味・特技を生かして、壊れたおもちゃをみてもらいます。

こどもたちの『ものを大切に作る心』を育みます。

【日時】4月5日（土）10時～11時30分

【会場】春日コミュニティ館

【講師】おもちゃドクター

【対象者】どなたでも

【定員】なし 【申し込み】不要

【材料費】修理代金は無料 部品代実費
（必要な場合は要相談）

【その他】取り扱えないおもちゃもあります。
（ゲーム機、危険なもの）

【申し込み・問い合わせ先】

春日コミュニティ館 084-943-2531

東部図書館からのお知らせ

展示「ばらのまちの謎を解き明かせ！
～福山ミステリー文学展～」

島田荘司選ばらのまち福山ミステリー文学
新人賞の歴代ポスター及び受賞者・作品紹介
の展示です。

【期間】4月16日（水）～5月19日（月）

【場所】東部図書館 1階フロア

【問い合わせ先・申し込み】東部図書館 084-940-2575

はるのおはなし会

【日時】4月20日（日）11時～11時40分

【場所】東部図書館 2階 集会室

【内容】大型絵本の読み聞かせ、エプロンシアター、手あそびなど

サロンコンサート

【日時】4月22日（火）14時～14時30分

【場所】東部市民センター 1階サロン

【内容】琴・ギター・フルートなどの演奏

【出演】輝楽音

特集「インターネットと人権」について考える その1

インターネットの光と影

インターネットは、1967年にアメリカで誕生し日本では1984年から始まりました。

最初は、研究が主な利用目的でしたが、1983年に商用サービスが始まると急速に発展。今では私たちの暮らしのあらゆる場面で活用されており、なくてはならない存在となっています。

一方で、個人や集団を誹謗中傷したり、個人情報などをさらけ出すなど、人権侵害に悪用されるケースが増えています。また、詐欺や暴力など、深刻な犯罪の温床にもなっており、光と影が混ざり合っています。

では、安心して安全にインターネットを使用するにはどうすればいいのでしょうか。

「ネットリテラシー」の力を高める

インターネットには、何千億という情報があ

ふれており、日々、インターネットを利用して私たちに、その中にある嘘や間違いを判断し、必要な本物の情報にたどり着く力が求められています。このような、情報を適切に判断し運用する力を「ネットリテラシー（インターネットリテラシー）」と呼んでいます。

そこで、今年度は「インターネットと人権」をテーマに事例や法整備の状況などを紹介し、私たちの人権を守る「ネットリテラシー」について考え合いたいと思います。

インターネットは、私たちの暮らしになくてはならない存在です。一方で悪意の書き込み、財産権を侵す詐欺行為、社会をまどわす偽情報など、人権犯罪に悪用されるケースが後を絶ちません。そこで、人権を守る手段や使い方について、考え合いたいと思います。

ふくやま東部文化フェスタが開催されました。

3月2日に開催した、ふくやま東部文化フェスタは小雨模様にも関わらず多くの来場者があり、賑やかな一日となりました。絵画、写真、工作などの作品展示、踊り、歌、武道等のステージ発表など、日頃の活動の発表の場となり、参加された方の努力と熱意を感じました。

この行事は、実行委員を始め多くのボランティアの協力をいただき運営しています。特にステー

ジ発表に携わるホールボランティアは、この日に備えて5月から月に一度の研修会を実施し、円滑な運営に向け取り組んできました。運営にご協力をいただきましたボランティアの皆様方に心よりお礼を申し上げます。

ふくやま東部文化フェスタが、交流館などを中心に地域で活動するグループの発表の場として、また地域の皆さんの交流の場となるよう、これからも取り組んでいきたいと考えています。

桜のよさやき

四月、入学や就職などを迎えたみなさんは、期待と不安の中で新しい生活が始まったことでしょう。周囲の人々・担う役割・学びの環境など、何もかもが新鮮な出会いではないかと思います。

転勤や転校、引っ越し、退職や転職などを迎えた人にとっても、新しい生活の始まりだと思っています。

少しゆっくりしようと思った人、仕切り直しと決意を新たにした人。それらの位置から、希望を持って歩み始める四月になることを心よりお祈りします。

東部地域振興課では、今年度も講座やイベント・展示や情報紙の発行などを通じて、生涯学習や人権尊重など、さまざまな学習機会を企画し、みなさまのご参加をお待ちしています。

また、学区担当の職員が中心となって会議や協働、相談や取材などの機会に、それぞれの地域にお伺いさせていただきたいと思っています。

学区まちづくり推進委員会をはじめ、地域のみなさまと共に、人権を大切にしたい誰もが住みよいまちづくりの推進に向け、今年度もスタッフ一同頑張りたいと思います。よろしくお願いします。

